

令和7年4月門川町臨時教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和7年4月16日（水） 午前9時00分～午前10時41分
- 2 場 所 役場2－2会議室
- 3 出席委員 金子文雄教育長、新名章教育長職務代理者、金丸眞委員、池田千絵委員
- 4 事務局 椿原教育課長、黒木教育課長補佐、川越教育課長補佐
- 5 議 事 令和7年度学校経営説明（各学校長）

6 議事の概要

（1）開会（午前9時00分）

（2）教育長あいさつ

先日は桜が咲く中、各学校で入学式が行われ喜ばしく思う。朝、新中学一年生が元気よく登校する姿を見ると、我々も頑張らなければと感じるところである。

本日の臨時会では、各学校の学校経営案を説明していただくが、学校経営は校長の舵取りによって方向性を示すことで、学校の教育目標の具現化や子供たちへのより良い教育につながっていくものだと考える。各校長の経営方針に基づき、特色ある学校づくりにつなげていただきたい。また、本日の発表を他の学校も共有することが本町の特色である。教育委員の皆さんからも積極的なご意見をいただきたい。

（3）議事

- ・令和7年度学校経営説明（各学校長）

門川小学校 中田校長が資料を用いて説明

○新名章委員

校長の思いがたくさん詰まっていると感じた。そして4月当初から既実践していることが分かるが、職員への説明は一回では分からないだろう。校長の思いが伝わり学校が少しずつ変わっていけば、安定して子供たちの学力も付いてくると思う。一方で、チーム担任制に違和を感じた。チームで子供たちをサポートできるのは良いが、責任の所在がぼやけてしまう。時代の流れもあるだろうが、学級担任になったらチームの一員としてではなく自ら責任の意識を持って子供たちに向き合うことで、初めてチーム力ができてくるものだと思う。

校長の願いが先生方ひとりひとりに根付いていくことを願っている。

●金子教育長

中学校の教科担任制のように、ひとりの子供に対して学級担任だけでなく皆が責任を持つという意識があれば、自然とチームで対応する体制ができるだろう。生徒指導の実践推進校として、他校も含め小・中連携した生徒指導を期待している。

草川小学校 鈴木校長が資料を用いて説明

○金丸眞委員

先生方の働きやすい環境があるからこそ子供たちにとって良い環境が与えられるものだと思う。その中で、先生が子供たちと触れ合う時間をもっと増やし、「児童生徒全員のことを知っている。」と言えるような環境づくりをお願いしたい。

●金子教育長

探求学習について、これまでの学習が具体的にどのように変わるのか教えていただきたい。

●鈴木校長

単元計画が探求的なものになるように変更している。一時間の授業の中で、「めあて」ではなく「出会いと問い」があり、それを「解決」し「答え」が出るという流れにしたいと考えている。総合的な学習の時間に対する先生方の考え方から変えていきたいと思っている。

五十鈴小学校 神井校長が資料を用いて説明

○池田千絵委員

完全不登校の児童がゼロであることが素晴らしいと思う。一方で、登下校時の保護者の送迎が多いことが気になる。子供の安全や体力面を考えると、対策に取り組むべきだと思った。

○新名章委員

校長は赴任されたばかりだが、地域のことや職員のこと、校内の様子をよく観察している。そして、今感じたこと、気付いたことをすぐに変えていこうとする姿を見ることができ嬉しく思う。校長の姿が先生や保護者に伝われば、もっと良い学校になるだろう。町内4人の校長先生で高めていっていただきたい。

門川中学校 永富校長が資料を用いて説明

○新名章委員

S P Sの推進を含め、中学校の子供たち自身が自治活動を活性化させていこうとする姿が見られる。先生方も一緒になって取り組み、高めていっていただきたい。「凡事徹底」を子供たちが頭に思い描けるような学校経営をしていただけるとありがたい。

●金子教育長

本町の特色として、小・中4校がいろいろな機会に一緒に協議したり、物事を進めていたりしており、町内の学校のチームワークがとれていることが素晴らしいところである。今年度も共通の教育体制をお願いしたい。

また、新たな目で新しいことを取り入れたり、これまで続けてきたことと融合させていたりする取組も大事だと感じた。10年後、20年後に本町を支える子供たちを育てていくという視点で小・中がつながり、一体感のある教育を本町で展開できればと思っている。問題も多々出てくると思うが、皆で話し合い、乗り切りたいと考えているので、教育委員会も活用していただきたい。

(4) その他
特になし

(5) 閉会（午前10時41分）